

DCSシミュレータ説明会開催

1. はじめに

JCCP では、プラクティカルな研修を実現するため、各種のシミュレータを保有しています。計装関係のシミュレータとしては、プラントの運転に欠かせない分散型計装システム（Distributed Control System）とミニチュアプラントを結合した実プラントに近いシミュレータがあります。この DCS シミュレータは、2 機種あり、技術の進歩に合わせた研修ができるよう計画的に設備を更新しています。1 機種は、3 年前に新機種（No.6 シミュレータ：アズビル社製）に移行が済み、残る機種は、昨年 10 月に新機種（No.5 シミュレータ：横河電機社製）への移行を終了しました。DCS シミュレータについては、以前から所員からどのようなものか知りたいとの要望がありました。そこで、新 DCS シミュレータの紹介も兼ね、所員向けの説明会を実施しましたので概要を報告します。

2. 説明会概要

当日は、研修部ばかりでなく、他部からも出席があり、予想以上の賑わいとなりました。説明会の式次第は、システムの概要説明、起動式その後、希望者による DCS シミュレータの体験コーナーという 3 部構成としました。システムの概要説明の中では、約 40 年前に遡る DCS の歴史、DCS が“分散型（Distributed）”計装システムと呼ばれている理由、心臓部であるフィールドコントロールステーションなどの現物の紹介、実際の研修で行っている実習内容等について説明しました。

起動式は、DCS シミュレータの研修の最初に実施する操作、つまり水槽への水注入操作をスタートすることで実施しました。3 セットあるミニチュアプラントがほぼ同時に、水注入が開始されると、参加者から驚きの声とともに拍手が起こりました。

この後、引き続き希望者による体験コーナーに進みました。当初、参加者が少ないのではと心配しましたが、3 セットあるシミュレータに二人ずつ着席し、更に次の機会を待つ人が何名もいるという予想以上の参加を得ました。

体験内容は、研修生が実習するものと同じ内容を実施してもらうこととしました。水槽のレベルをある目標値に調整する操作では、短時間でスムーズに調整した人、目標値何度か上下しながら、なんとか目標値にたどり着いた人等まちまちでしたが、参加者それぞれがシミュレータ操作を楽しんでいました。

3. 終わりに

DCS という言葉自体を初めて聞く方もいた中で、楽しんでシミュレータ操作を体験して頂けたのは、望外の喜びでした。DCS シミュレータも所員にとってもより身近なものとなったことと思います。今後は、所員の研修設備への理解にも心がけ、所員から色々なアイデアを頂き、研修設備の有効利用につなげたいと思います。

（研修部 鈴木 和廣）



新 No.5 シミュレータ



体験コーナー風景